

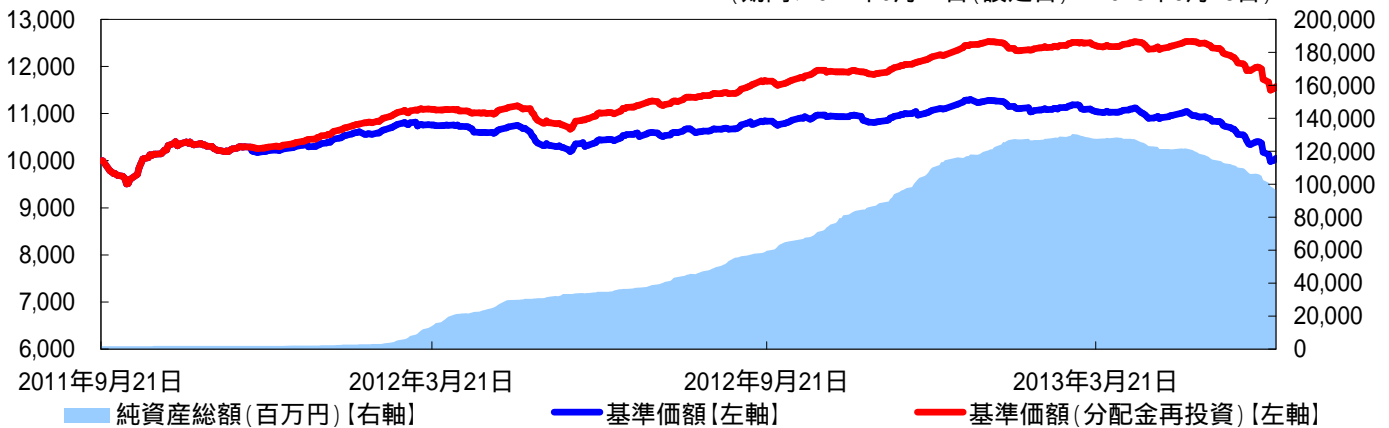
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)  
【愛称:グローイング・スター】 ~ 直近の基準価額変動に関する要因分析と今後の見通し ~

追加型投信 / 海外 / 債券

平素は「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)【愛称:グローイング・スター】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
2012年半ば以降堅調に推移しておりました当ファンドの基準価額は、2013年5月以降、米国の金融政策をめぐる報道等を受けて下落基調に転じております。  
受益者の皆様には大変ご心配をおかけしておりますが、現在のやや不透明な投資環境が落ち着きを取り戻す局面では、新興国企業あるいは同社債の魅力に再び注目が集まるものと考えております。

基準価額の推移

(期間: 2011年9月21日(設定日) ~ 2013年6月28日)



基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7955%(税抜1.71%))控除後の値です。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。上記グラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

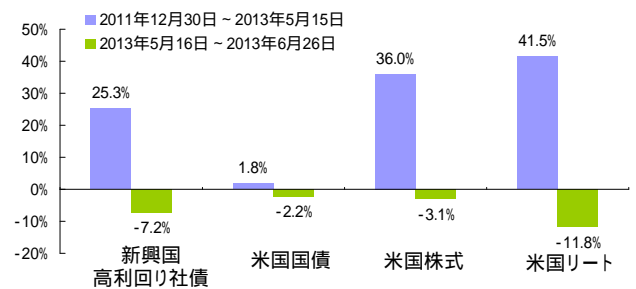
足下の新興国高利回り社債市場の動向について

2012年以降の世界の金融市場では、欧米における積極的な金融緩和と世界的な景気回復への期待から、株式や新興国の通貨・資産をはじめとするリスク資産の上昇が続いておりました。しかし、2013年5月中旬以降、米国のQE3(量的金融緩和第三弾)の早期縮小観測が広がったことから、景気の下支え要因のひとつであった金融政策面でのサポートが失われるとの懸念の高まり、市場に供給される流動性(お金の量)の増加期待が後退したことによる市場金利上昇などにより、新興国債券をはじめとするリスク資産の価格はそろって下落に転じています。

6月18、19日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)ではQE3の維持・継続が決定されたものの、その後の記者会見において、2013年後半からのQE3の縮小開始の可能性、米国経済回復の状況によっては、2014年央にもQE3を終了する可能性に言及されたことで、先行き不透明感が払拭されることはなく金融市場では不安定な展開が続いています。

【各資産の期間別騰落率(米ドルベース)】

(期間: 2011年12月30日 ~ 2013年6月26日)



新興国高利回り社債: JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード 米国国債: パークレイズ米国国債インデックス 米国株式: S & P 500 株価指数(配当込み) 米国リート: FTSE NAREIT ALL Equity REITs(配当込み)

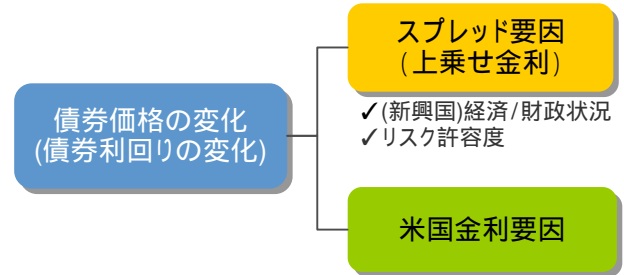
・上記グラフは指数の値を使用しています。指数については、【当資料で使用している指数について】をご覧ください。

(出所) ビムコ社のデータより三菱UFJ投信作成

・本見通しあるいは分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**新興国高利回り社債の下落要因について**
**【債券価格下落に関する2つの要因】**

債券価格の変化は、右のイメージ図の通り、対米国国債でのスプレッド要因(上乗せ金利)と米国金利要因の2つに分解されます。足下は、米国金利が上昇したことに加え、スプレッドが拡大したことが債券価格の下落(利回りは上昇)要因となっています。

**【債券価格の変動要因(イメージ図)】**

**【市場の動揺に伴うスプレッドの拡大】**

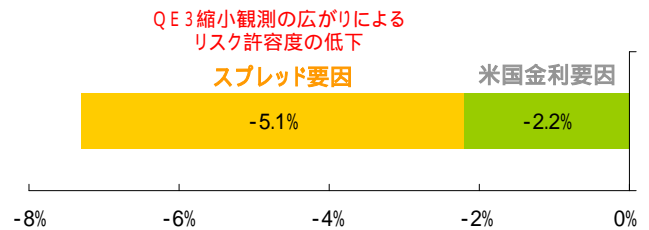
直近の下落局面で2つの要因を分析しますと、新興国高利回り社債の下落は、米国金利の上昇による影響に比べ、スプレッドの拡大による影響をより強く受けたことが背景となっています。

新興国高利回り社債の下落率(2013年5月16日～2013年6月26日)のうち、米国金利要因が-2.2%、スプレッド要因が-5.1%となっています。

足下のスプレッドの拡大は、主に米国におけるQE3の早期縮小観測の広がりを背景とした市場の動揺、即ち投資家のリスク許容度の低下を受けたものであると考えられます。

**【新興国高利回り社債の騰落率の要因分解】**

(期間:2013年5月16日～2013年6月26日)



新興国高利回り社債:

JPMorgan CEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード

・上記グラフは指数の値を使用しています。指数については、  
【当資料で使用している指数について】をご覧ください。

(出所)ピムコ社のデータ、資料より三菱UFJ投信作成

**今後の市場の見通しについて**
**【QE3の縮小開始は、あくまで景気回復の持続と金融環境の安定が前提】**

バーナンキFRB(米連邦準備制度理事会)議長は2013年後半からのQE3縮小の条件として、FRBの景気見通しである「経済と労働市場の回復」を挙げています。「経済見通しが悪化するか、金融環境が労働市場のさらなる改善と整合的でないと判断されれば、縮小の先送りもあり得る」と述べており、QE3縮小の判断は、あくまで景気回復の持続と金融環境の安定を前提としています。

米国は先進国の中で相対的に力強い回復が続くものの、2013年の経済成長は財政緊縮が重石となり2.0%程度にとどまる見込みです。FRBは足下の金利上昇には懸念を示していないものの、米国の景気回復の一翼を担ってきた住宅市場や、その他貸出金利にも影響をおよぼす可能性のある金利の急速な上昇を許容しないとも考えられます。

こうした環境のもと、新興国高利回り社債が更なる金利上昇により受ける影響は比較的小さいと考えられます。また、足下の債券価格の下落は主に投資家のリスク許容度の低下によるものと考えられることから、市場が落ち着きを取り戻す局面には高い債務返済能力を有する新興国企業や、同社債の魅力的な利回り水準に再び注目が集まる可能性があると考えます。

・本見通ししないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

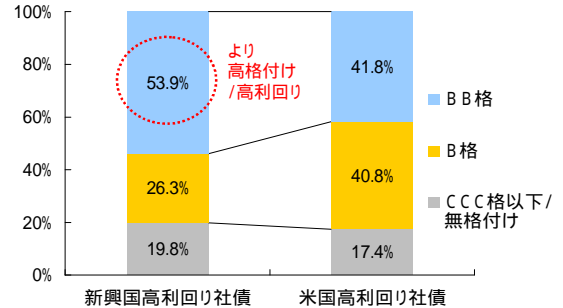
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)【愛称: グローイング・スター】

新興国債券投資のポイントについて

新興国高利回り社債と米国高利回り社債の格付け構成を見ますと、『BB格』の債券の比率は、新興国高利回り社債が「53.9%」であるのに対し、米国高利回り社債は「41.8%」と、新興国高利回り社債の方が格付けの高い銘柄が多い状況にあります。一方で、双方の『最終利回り』の水準を比較してみますと、新興国高利回り社債の「8.1%」に対して米国高利回り社債は「7.1%」と、新興国高利回り社債が約1%上回っており、信用力対比での利回りの高さが魅力となっています。

格付け構成と利回りの比較

格付け構成は2013年5月31日時点、利回りは2013年6月26日時点



最終利回り **8.1%** > **7.1%**

新興国高利回り社債: J.P.モルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード  
米国高利回り社債: BofAメリルリンチUSハイイールドマスター コンストレインドインデックス

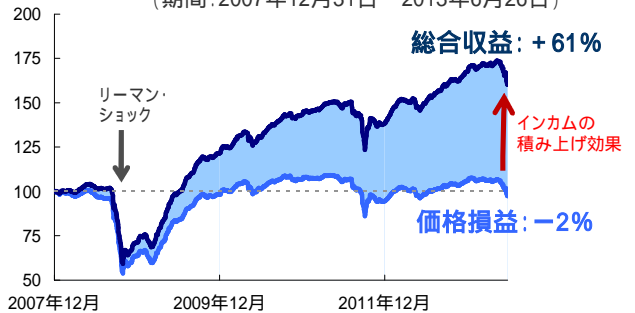
(出所)ビムコ社のデータより三菱UFJ投信作成

【インカム積み上げの重要性】

不安定な相場展開が続く市場環境下においては、価格の上昇(キャピタル・ゲイン)を目指すよりも、ファンダメンタルズの良好な国・企業が発行する債券等への投資を通して確実性の高い金利収入(インカム・ゲイン)を追求することにより、価格変動に対する耐性を備えることが重要であると考えられます。

2008年以降の新興国高利回り社債の推移(米ドルベース)

(期間: 2007年12月31日 ~ 2013年6月26日)



・2007年12月末 = 100として指数化  
・新興国高利回り社債: J.P.モルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード

(出所) J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーのデータより三菱UFJ投信作成

本見通しなしいし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。上記グラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。計測期間が異なる場合には結果も異なる点にご注意ください。上記各グラフは指数の値を使用しています。指数については、【当資料で使用する指数について】をご覧ください。

今後とも引き続き、『三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)【愛称: グローイング・スター】』をご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【当資料で使用する指数について】

新興国高利回り社債: [J.P.モルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード] J.P.モルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレードとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、米ドル建ての新興国社債(非投資適格)の代表的なインデックスです。

米国リート[FTSE NAREIT ALL Equity REITs(配当込み)] FTSE NAREIT ALL Equity REITsとは、FTSE International Limited(以下、「FTSE」)が算出・公表する米国の代表的なREIT株価指数で、米国の上場不動産投資信託証券の値動きを示す代表的な指数の1つです。(FTSE NAREIT ALL Equity REITsインデックスの全ての権利はFTSEに帰属します。「FTSE」はLondon Stock Exchange Plcが所有する商標であり、ライセンス契約に基づき、FTSEが使用します。FTSEは、FTSE NAREIT ALL Equity REITsおよびその基となるデータにおけるあらゆる誤謬または欠落に関して一切の責任を負いません。)

米国株式[S&P500株価指数・S&P500株価指数(配当込み)] S&P500株価指数は、スタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ・エルエルシーが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。

米国国債:[パークレイズ米国国債インデックス] パークレイズ米国国債インデックスとは、パークレイズ社が算出する米国の国債の値動きを示す代表的な指数です。パークレイズ・インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーおよび関連会社(パークレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズに帰属します。

米国高利回り社債:[BofAメリルリンチUSハイイールドマスター コンストレインドインデックス] BofAメリルリンチ USハイイールドマスター コンストレインドインデックスとは、バンクオブアメリカ・メリルリンチ社が算出する、米国のハイ・イールド社債市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数です。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



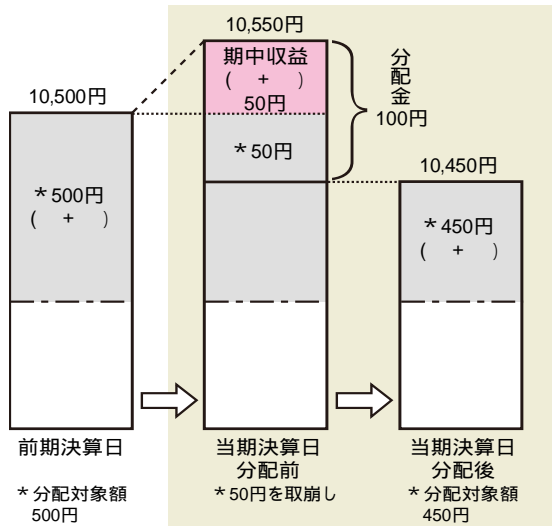
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに 分配準備積立金および 収益調整金です。

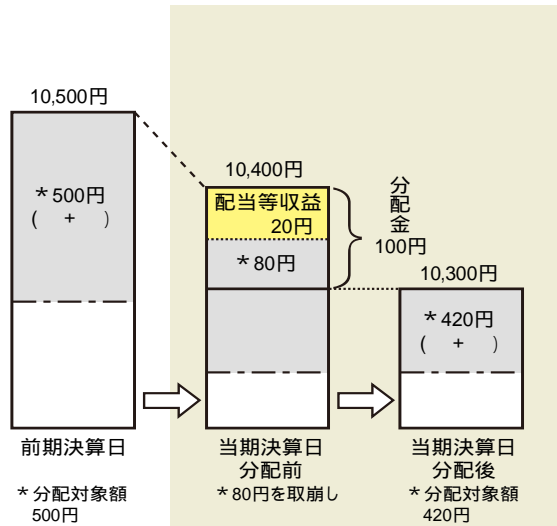
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



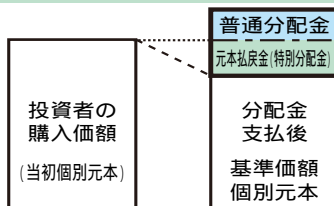
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

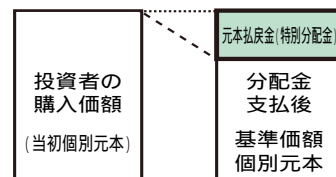
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。



# 通貨選択型ファンドの収益のイメージ

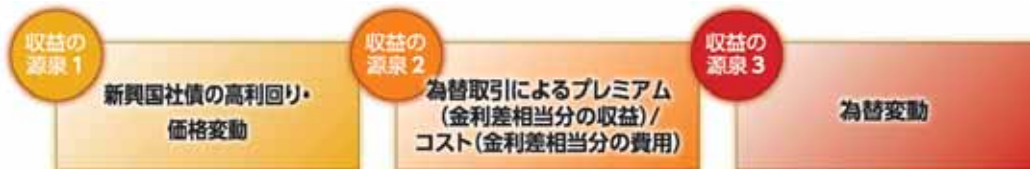
通貨選択型の投資信託のイメージ図 (円コース、米ドルコースを除く)

各コースは、米ドル建て新興国高利回り社債への投資に加えて、為替取引の対象となる通貨を選択することができるように設計された投資信託です。



\* 当該取引対象通貨の対円での為替変動リスクが発生することに留意が必要です。

各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



- 円コースにおいては、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- 米ドルコースでは、米ドルが対円で上昇(円安)した場合は為替差益が、米ドルが対円で下落(円高)した場合は為替差損が発生します。

## 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]

### ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ」は、以下の8つの通貨コースとマネープールファンドの9本のファンドで構成される投資信託です。

<円コース> (毎月分配型)	/	<米ドルコース> (毎月分配型)
<豪ドルコース> (毎月分配型)	/	<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
<メキシコペソコース> (毎月分配型)	/	<トルコリラコース> (毎月分配型)
<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	/	<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)
<マネープールファンド>		

「8つの通貨コース」について

ファンドの目的

米ドル建ての新興国の高利回り社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

- ・当ファンドシリーズは、債券への投資に加えて、為替変動リスクの異なる8つの通貨コースを選択することができます。
- ・資源国バスケット通貨コース(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)およびアジアバスケット通貨コース(韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピア)においては、それぞれ3通貨への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつからカイ離する場合があります。
- ・各コースは、主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国の高利回り社債等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・投資する米ドル建ての新興国の高利回り社債は、原則として取得時においてCCC格相当以上の格付けを取得しているものに限り、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S & P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。
- ・一般的に高利回り社債は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。
- ・つまり、高利回り社債は、主として低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。
- ・各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国の高利回り社債に投資を行う一方で、それぞれ以下の為替対応を行います。
- ・円コース(毎月分配型):原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。  
「為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- ・米ドルコース(毎月分配型):原則として対円での為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。  
「為替差益または差損」が生じます。
- ・上記以外の各コース:対円での為替ヘッジを行わず、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行うため、各コースの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。  
「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益または差損」が生じます。
- ・為替取引とは、円コース、米ドルコース以外の各コースにおいて、為替予約取引等を利用することにより、米ドル売り、各コースの対象通貨買いをを行うことをいいます。為替取引を行うことにより、各コースの対象通貨ベースでの新興国の高利回り社債への投資効果を追求します。
- ・為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。円コースにおいては、上記同様、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- ・各コースにおいて、投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- ・三菱UFJ投信は、各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。
- ・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金利が米ドルの支払いおよびその金額について保証するものではありません。(メキシコペソコース、トルコリラコースの初回決算日は、2013年6月13日です。また、収益の分配は、原則として第3回決算日(2013年8月13日)から行う予定です。)
- ・販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用...三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会



## 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】

### ファンドの目的・特色

#### 「マネーボールファンド」について

##### ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

##### ファンドの特色

- ・運用は主にマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。
- ・実質的にわが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。
- ・毎年6・12月の各13日(休日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

##### <主な投資制限>

- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

#### 「スイッチング」について

各ファンド間でスイッチングが可能です。

- ・スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。
- ・マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各コースからのスイッチングの場合に限定します。

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

### 市場リスク

#### (価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### (為替変動リスク)

##### 「円コース」

組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対円での為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替ヘッジによるコストとなります。

##### 「米ドルコース」

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、対円での為替変動の影響を大きく受けます。

##### 「豪ドルコース / ブラジルリアルコース / メキシコペソコース / トルコリラコース」

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離れた金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

##### 「資源国バスケット通貨コース」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離れた金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

##### 「アジアバスケット通貨コース」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、アジアバスケット通貨(韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピアを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離れた金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

**三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】**
**投資リスク**
**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**カントリーリスク**

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

各ファンドは、格付けの低い高利回り社債を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

**マネーボールファンド**
**市場リスク**

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**その他の留意点**

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネーボールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

**リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

**三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ <円コース> (毎月分配型)**
**Morningstar Award "Fund of the Year 2012"**
**優秀ファンド賞受賞 【高利回り債券型 部門】**


Morningstar Award "Fund of the Year 2012"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2012年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。高利回り債券型部門は、2012年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド524本の中から選考されました。



**三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]**
**手続・手数料等**
**お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限り、 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	各ファンド(マネーボールファンドを除く) ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は1月21日、2月18日、3月29日、5月27日、7月4日、9月2日、11月11日、11月28日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに関し制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	各ファンド(メキシコペソコース、トルコリラコースを除く) 2021年6月11日まで(2011年9月21日設定) メキシコペソコース/トルコリラコース 2021年6月11日まで(2013年5月29日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合および各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 各ファンド(マネーボールファンドを除く) 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 マネーボールファンド マネーボールファンドを除く各ファンドがすべて償還する場合には繰上償還となります。
決算日	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月13日(休業日の場合は翌営業日) メキシコペソコース、トルコリラコースの第1回目の決算日は2013年6月13日 マネーボールファンド 毎年6・12月の各13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。(メキシコペソコース、トルコリラコースの収益の分配は、原則として第3回決算日(2013年8月13日)から行う予定です。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネーボールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】**

**手続・手数料等**

ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料	購入価額 × <b>3.15% (税抜 3%)</b> (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × <b>年1.7955% (税抜 年1.71%)</b> ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】  
購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】  
～手数料率3.15%(税込)の例～  
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 3.15% = 31,500円となり、合計1,031,500円をお支払いいただくこととなります。

**三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ【愛称:グローイング・スター】**

**手続・手数料等**

ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

マネーボールファンド

お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料	ありません。
--------	--------

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × <b>年0.5775% ~ 0.0105% (税抜 年0.55% ~ 0.01%)</b> 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
------------------	--

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120 - 151034**  
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

<公式サイト> <http://www.am.mufig.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)





